

平成 22 年（2010 年）6 月の世界の平均気温について（速報）

～統計開始以来、1 位タイとなる高温～

2010 年 6 月の世界の平均気温は、統計を開始した 1891 年以降で 6 月としては、1998 年と並んで最も高い値となりました。

2010 年 6 月の世界の平均気温（陸域における地表付近の気温と海面水温の平均）の平年差^{*1}（速報値^{*2}）は $+0.40^{\circ}\text{C}$ と、6 月の気温としては、統計を開始した 1891 年以来、1998 年と並んで最も高い値となりました（図 1）。

6 月の平均気温は、陸域では中国北部からモンゴルにかけての地域、西アジア、米国南部で平年より高くなりました。海面水温は、太平洋の西部熱帯域からインド洋、大西洋熱帯域などの広い範囲で平年より高くなりました（図 2）。

長期的には、6 月の世界の平均気温は 100 年あたり $+0.65^{\circ}\text{C}$ の割合で上昇しています。

なお、6 月の日本の平均気温の平年差は、 $+1.24^{\circ}\text{C}$ （第 5 位）でした（図 3）。

6 月の世界の平均気温が高くなった要因としては、二酸化炭素などの温室効果ガスの大気中濃度の増加に伴う地球温暖化に加えて、昨年夏に発生し本年春まで続いていたエルニーニョ現象の影響が残っているものと考えられます。さらに、十年～数十年程度の時間規模で繰り返される自然変動が重なっているものと考えられます。

世界及び日本の年平均気温、月平均気温は気象庁ホームページにて随時更新・掲載しています。

<http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/temp/index.html>

^{*1} 平年差とは平均気温から平年値を差し引いた値（平年偏差ともいう）です。平年値としては、1971～2000 年の 30 年平均値を使用しています。

^{*2} 2010 年 7 月 14 日までに気象庁に入電したデータをもとにした解析値です。

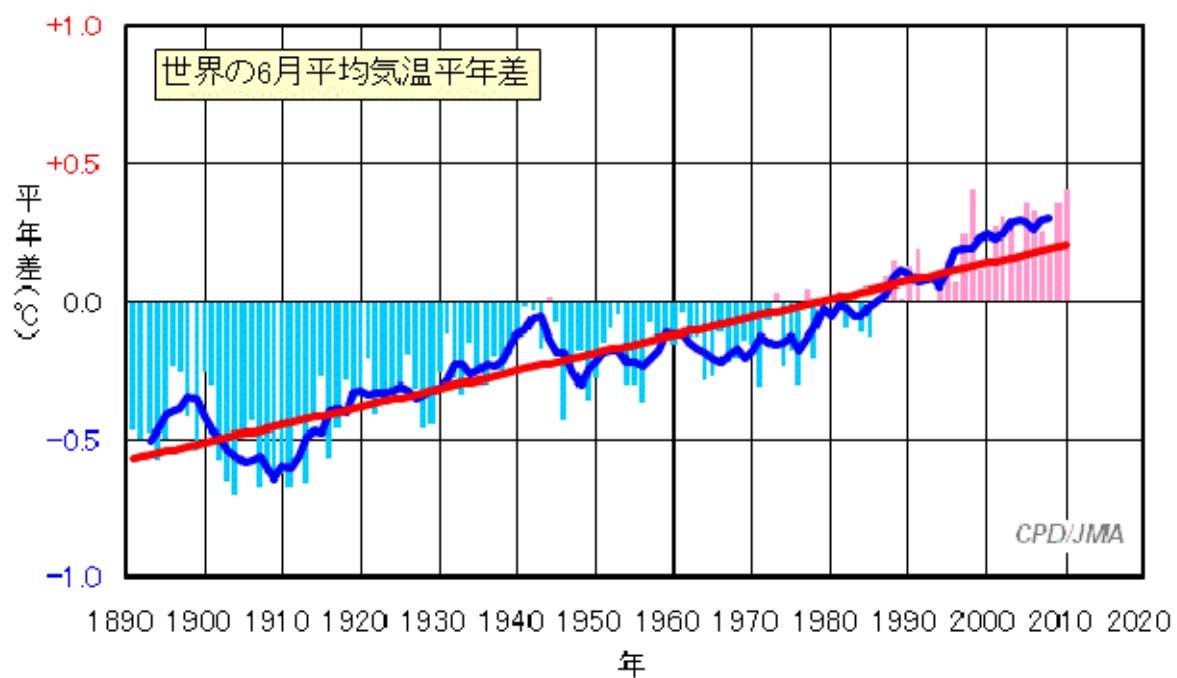


図1 世界の6月の月平均気温の平年差の経年変化(1891～2010年)
棒グラフは各年の値、青線は各年の値の5年移動平均を、赤線は長期変化傾向を示す。

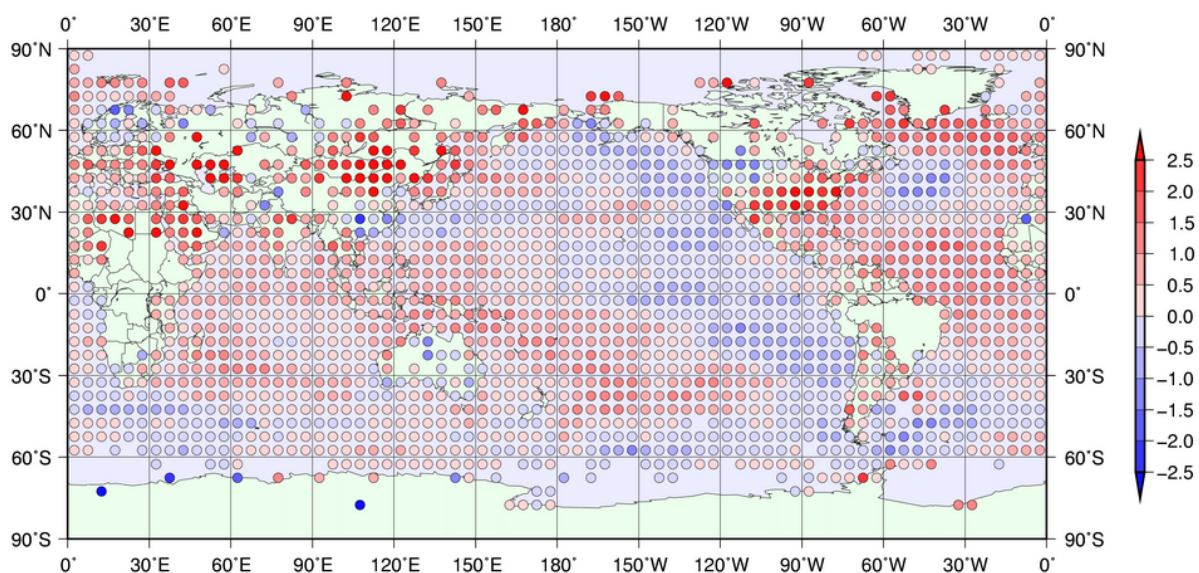


図2 2010年6月の月平均気温の平年差の分布
緯度、経度 5 度の領域ごとに平均した値で示す。

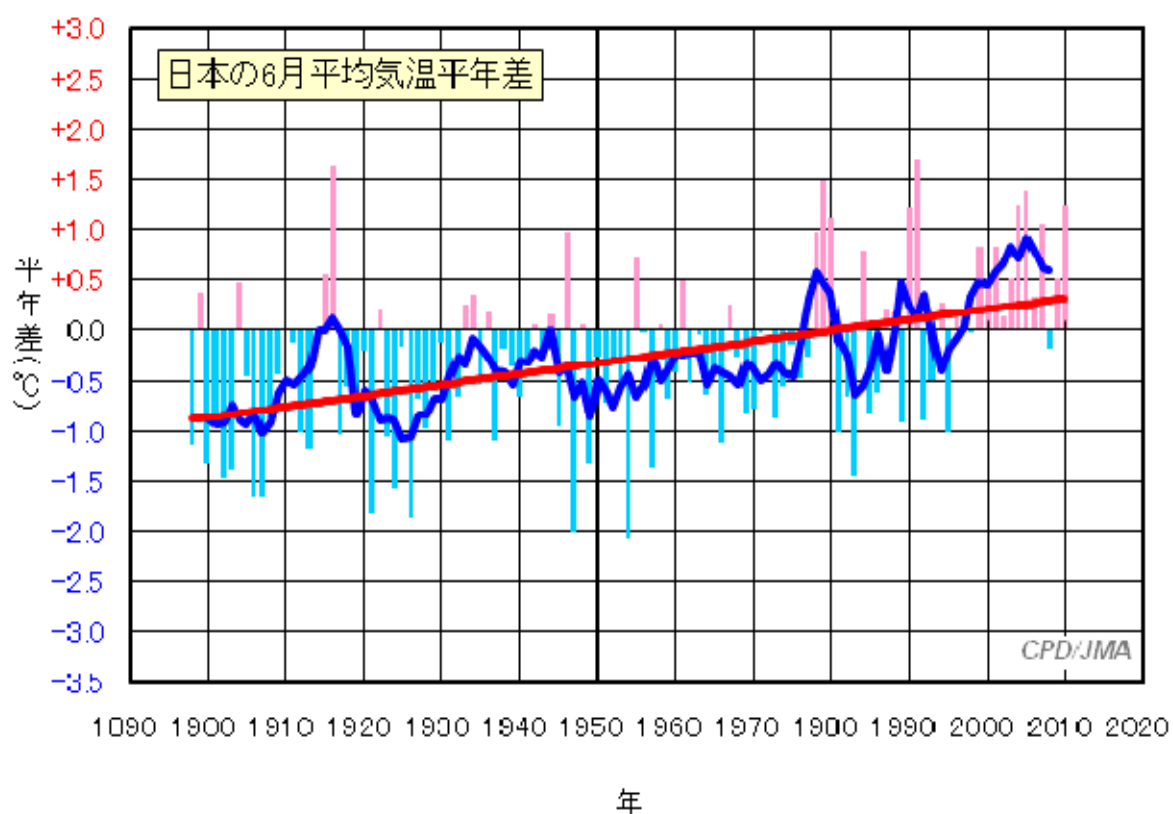


図3 日本の6月の月平均気温の平年差の経年変化(1898～2010年)

棒グラフは各年の値、青線は各年の値の5年移動平均を、赤線は長期変化傾向を示す。

(参考)

6月の世界の月平均気温の順位

順位	年	平年差(°C)
1	2010	+ 0.40 (速報値)
	1998	+ 0.40
3	2009	+ 0.36
	2005	+ 0.36
5	2006	+ 0.33
6	2002	+ 0.31
7	2003	+ 0.30
8	2001	+ 0.27
9	2007	+ 0.25
10	1997	+ 0.24

6月の日本の月平均気温の順位

順位	年	平年差(°C)
1	1991	+ 1.69
2	1916	+ 1.62
3	1979	+ 1.48
4	2005	+ 1.38
5	2010	+ 1.24
	2004	+ 1.24
7	1990	+ 1.22
8	1980	+ 1.11
9	2007	+ 1.06
10	1978	+ 0.98
	1946	+ 0.98

※ 2010年6月の世界の月平均気温の平年差は、7月14日までに気象庁に入電したデータをもとにした速報値です。確定値は、2010年8月初めに公表しますが、速報値とは順位、値ともに変わる可能性があります。